

(第2号様式)

沖盲第2058号
令和6年3月15日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立沖縄盲学校
校長 内間 秀樹
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和5年7月4日(火) 14:30~15:30	沖縄盲学校視聴覚室	4名/4名出席
第2回	令和5年12月20日 (水)11:00~12:00	沖縄盲学校小会議室	4名/4名出席
第3回	令和6年3月14日 (木)16:00~17:00	沖縄盲学校小会議室	2名/4名出席

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校評価(自己評価、保護者アンケート、児童生徒アンケート)の結果に関する意見
- ②学校における教育活動並びに進路状況に関する意見
- ③教育環境等に関する意見

3 学校評議員の意見

- ①働き方改革を推進しながら、幼児児童生徒の「基本的な生活習慣の確立」及び「確かな学力」を育む教育活動を行って欲しい。
- ②専攻科卒業後の進路開拓(ヘルスキーパー等)を積極的に行って欲しい。
- ③コロナ禍で停滞していた交流及び共同学習や校外学習等の実施が積極的に行われたことが伝わりました。
- ④引き続き、県内唯一の視覚特別支援学校としてのセンター的機能の充実及び情報発信を行って欲しい。

4 学校運営に反映した事項

- ①校務分掌や各種委員会の業務内容の見直し。
- ②引き続き、視覚特別支援学校としてのセンター的機能の充実(沖盲ふれあいデーの実施など)
- ③居住地校交流や学校間交流(対面交流やリモート交流)の継続した実施

5 課題その他

- ①本校赴任前に視覚障害教育について学ぶ場がなく、本校に赴任してきて始めた学ぶ先生方がほとんどで、専門性の現状維持も難しくなっている。
- ②幼児児童生徒数の減少への取り組みが必要である。